国際

ベトナム　ニュース

News in Vietnam

経済 business

ＧＤＰ成長率　魅力的な市場

ベトナムの経済は安定してGDP成長率5%超を維持しています。2015年には外資法人への規制緩和、外国人不動産購入の規制緩和などの影響もあり、GDPは成長率6.68%となりました。2016年の国内総生産(GDP)成長率は約+6.6%で、東南アジア地域で1位、世界93か国・地域では2位に入ると見込まれています。(1位はインドで+7.4%)

対外的にも、経済の自由化は進んでおり、2015年末にASEAN経済共同体(AEC)が発足し6.2億人超の人口を有するASEANの更なる成長が期待されています。

ベトナムと欧州連合(EU)間のパートナーシップ協力協定(PCA)も2016年10月に発効し一般特恵関税制度(GSP)の適用などが期待されています。

一人当たりGDPは現在2200USDですが、今後5年間で1.5倍になると言われており、市場としても面白いと見られています。世界の新興国小売市場調査(A.T.カーニー) によると、ベトナムは参入魅力度の高い国の上位11位にランクインしています。
9170万人余りの人口を擁し、また生活水準が向上していることを受けて、同市場の開発ポテンシャルが非常に大きく、今後も大幅に成長するとの見方が広がっています。

不動産 real estate

2016年も成長を続けた建設・不動産市場

日系大手の進出が加速

2015年に外国人による不動産購入の規制緩和がされ、土地付き住宅の購入も認められるようになりました。2015年だけで、外国人によるベトナム不動産の取得数は1000件に達しました。また、ベトナム人向けの住宅融資の緩和もあり、2015年はベトナム不動産がかつてない活況となりました。

2016年は、融資規制強化の予測でマンション数の過剰が心配され、時期や都市によっては新築マンションの成約戸数・マンション賃料の上がり下がりがありましたが、1年を通して 見ればまだマンション市場は成長を続けていると言えます。

一方、土地のみの売買、土地付住宅の市場は注目度は低いものの安定した成長を続けており、市内の注目地域(HCMC9区など)では、地価上昇率が20%／年を超える場所も多い。

この建設・不動産市場の活況を背景に、日系大手企業も動き出し、分譲住宅、賃貸住宅事業を開始しています。ベトナム不動産市場のミニバブル感は否めませんが、周辺アジア諸国と比べればまだまだ割安感はあり、経済発展を背景に、5年の長期で考えれば成長するのは確実だという声が強いでしょう。

政治 Politics

フック新政権発足

バランス外交とクリーンな政治に向けて

社会主義国のベトナムは、共産党の一党独裁ですが、個人に権力が集中しない集団統治体制であり、「党中央委員会書記長」「国家主席」「首相」に権限を分散し、比較的安定した政治体制となっています。
政権は5年ごとに改められ、今年2006年から2015年までを勤めたズン首相に変わり、フック首相新政権が発足しました。外交は極めて巧みなバランス型。
南シナ海での問題を抱える中国とも頻繁に会談を開きつつ協調的な態度を見せつつ、オバマ大統領、ドゥテルデ大統領を招くなど各国とも関係を築いています。
内政に関しては、社会主義国特有の汚職の問題が取りざたされていますが、各国との自由貿易協定などの発足に伴い、クリーンな政治を求める動きが活発化しています。

ミシェル・ファン(Michelle Phan)

輝き、話題の女性

Youtubeでメイクアップ動画配信

今日の女性たちは、化粧品店でカウンセリングを受けるより、インターネット上にアップされているメイク講座の動画を見る方を好む。こうした動画を制作し、化粧品業界に革命を起こしたファンさん。メイク講座動画で有名なだけでなく、敏腕な経営者でもある。

詳しくは→ ミシェル・ファン 検索

流行 trend

配車アプリが大人気

世界で話題の配車アプリ。まず火付け役となったが、Grab Car(シンガポールを本拠地、東南アジア各国でタクシー配車・予約サービスを展開しています)。2016年に交通運輸省公認のアプリとなったことで、一気に利用者が拡大。対する競合であるUberも比較的安価な値段設定でハイクラス車と攻勢をかけ、ハノイ市とホーチミン市の2大都市で日常的に利用する人の数は、2016年第2四半期だけで30万人を超えました。

Taxi最大手のVinasunも独自配車アプリをリリース、またGrabは値下げに踏み切るなど、激しい競争が繰り広げられています。
なお、東南アジアのベトナムならではと思える点は、GrabでもUberでもバイクタクシーを利用できることです。車を呼ぶよりも半額以下で利用できるため、若者の間ではすでに定番となっています。

医療 Medical

日本式検診に注目

ベトナムでは、国民の所得が低く十分な医療サービスにアクセスできないという問題があります。
毎年20万人が新たにがんと診断されており、患者の80%が病院で診断を受けた時点で末期状態です。
まだ病気を予防しようという概念が浸透しておらず、早期発見に対する意識が低いのです。

それによりベトナムにおけるがんの発症率及び死亡率は世界でも高い水準にあり、特に男性の患者数が多いのは、◇肺がん、◇胃がん、◇肝臓がん、◇大腸がん、◇食道がんの5つとなっています。
一方女性では、乳がんと子宮がんです。
このような状況を背景に、富裕層の間では、日本で健康診断を受けようとする【メディカルツーリズム】が注目されつつあります。
※メディカルツーリズムとは・・・医療サービスを受ける目的で他国へ渡航することです。

ベトナム私立病院協会によると、ベトナム全国には180か所の私立病院がありますが、その3分の2は患者を集めることができず、採算が取れていない状況です。私立病院が困難に陥っている原因として、立地が良くないことや料金が高いことなどが挙げられます。また、ベトナムでは重度の疾患となれば、中央の公立病院で治療・診断を受ける傾向が強いのです。

国民1人あたりの医薬品支出額は前年比+10%増の37.9USD(約4210円)で、2009年の約2倍に増加しています。国内の医薬品生産額は前年比+18%増の16億4900万USD(約1830億円)と大きく伸びているものの、国内の需要の48%を満たすに過ぎず、半分以上を輸入品に頼っているのが現状です。

Vivant Co.Ltd （ヴィヴァント コーポレーション）

ベトナムへの事業進出をサポートします。

◇ベトナム進出支援
◇医療・クリニック経営
◇製薬・医薬品、サプリメント輸入申請
◇飲食店開業コンサル
◇不動産・建設・インテリアデザイン
◇美容・化粧品輸入申請

住所:Room 801, Vietnam Business Center Bldg, 57-59 Ho Tung Mau St, Ben Nghe Ward, District 1, HCMC
TEL:(+84) 126-715-8967

President 小森 悠矢 (Yuya Komori)

1986年生まれ、東京出身。
東京大学文学部卒業後、横浜のIT企業で採用リーダー、5000人の面接を実施。
半年のヨーロッパ周遊を経て「人生の無限の可能性」を実感。
成長著しいベトナムに拠点を移し、Vivant Coの設立に参画。
2016年9月社長に就任。

Hoang Khang Medical Clinic （ホンカン メディカルクリニック）

日本人医師・看護師がいるホーチミン6区のクリニックです。

◇健康診断
◇育児・健康相談
◇日本人の体質に合った予防接種
◇血液がん診断
◇自己免疫細胞による各種疾病の治療
◇がんの分子標的薬治療などにも対応可。

住所: 285 Ba Hom Street, Ward 13, District 6, Ho Chi Minh City, Vietnam
TEL: 08-6680-6846
mail:info@hoangkhangmedicalclinic.com